



新成人

希望とつむ

晴れ姿

川柳ひだか  
英子

はばたけ!! 20歳

# 議会だより



小さな冊子にあふれるニュース

第100号

平成17年1月28日

## 台風災害の復旧

補正予算 2p

## 集中した合併問題

一般質問 5p

## 水道料金 13%値上げ

委員会レポート 12p

## 町の先覚者たち

まちの声 16p



成人式 (1月4日)

【発行】 日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626

【編集】 議会広報特別委員会 TEL (0738)63-3810 Eメール gikai@town.hidaka.wakayama.jp

# 12月定例会

平成16年第4回定例会は、12月15日から24日までの10日間の会期で開かれた。

今回の定例会では、報告2件、同意1件、議案18件が提案され、慎重審議の結果、議案1件を修正可決、議案3件を否決、その他17件は原案のとおり同意、可決した。

また、9月議会で特別委員会に付託していた水道料金改正条例を修正可決した。

## 16年度補正予算

### 一般会計

既定額48億3073万5千円に1億1694万7千円を追加し、総額49億4768万2千円とする。

主な補正内容は

広川南インター負担金

2442万7千円

台風23号による災害

農業用施設災害復旧費

6件 3912万2千円

漁港施設災害復旧費

6件 1781万円

町道、河川災害復旧費

2件 1724万9千円

### 質疑

**問** 広川南インターの追加負担金とは。

**助役** 15年度繰越し事業分の分担金である。広川町より連絡漏れがあり今回補正した。

**問** そのような会計処理について納得しがたいが。

**町長** 二度とこのような事がないよう広川町へ十分伝える。

**問** 第3期介護保険の計画策定調査委託料、第3期目になるが、職員で計画策定できないのか。

**住民課長** 現在の担当職員の中では難しい。



台風による被害（産湯小谷川）

# 条例制定

日高町法定外  
公共物の管理  
に関する条例

日高町  
道路占用料  
徴収条例

会期中に総務常任委員  
会に付託し、一部修正後  
採決した。

全員一致で可決

町道の電柱・電  
話柱・広告塔・地  
下埋設物にかかる  
占用料。

全員一致で可決



教育委員会委員に  
山下 幹雄 氏

任期満了(12月22日)となるので  
再任することに同意した。  
任期は4年(2期目)。



電柱の占用料を徴収

日高町ひとり親家庭  
児童激励金支給条例  
の廃止

賛成少数で否決

**反対討論** 母子家庭の年間平均所  
得は、一般家庭の所得の4割で、  
経済的に大変な状況である。  
そんな家庭に対する僅かな激励  
金を廃止するのは、最後にすべき  
ではないか、よって、この条例廃  
止に反対する。

日高町心身障害  
児者福祉手当支  
給に関する条例  
の一部を改正

賛成少数で否決

**反対討論** 障害によって  
生ずる特別の負担の一助  
として手当を支給し、福  
祉の向上を図るといふ目  
的に反すると思うので反  
対する。

日高町保健福祉  
医療費の支給に  
関する条例の  
一部を改正

賛成少数で否決

**反対討論** 入院時の食事  
療養費は、治療の一環と  
して提供されているもの  
で、保健福祉医療の支給  
という考え方にたてば、  
現時点では継続してい  
くべきと考えるので反対す  
る。

日高町敬老年金  
支給に関する条  
例の一部を改正

賛成多数で可決

80歳支給開始を90歳支  
給開始に改めるもの。

**反対討論** 来年80歳に  
なったらもらえる、唯  
一の楽しみで待っていた  
お年寄りの夢を、いとも  
簡単に90歳に引き上げる  
ような条例改正に反対す  
る。

**賛成討論** 一定の年齢が  
くれば一律に支給される  
もので、他の福祉条例の  
廃止などと性格が違うと  
考える。  
今回の改定は、致し方  
のないことであると考え、  
賛成する。

16年度  
補正予算

下水道事業  
特別会計

既定額9億539  
4万8千円に191  
7万6千円を追加し、  
総額9億7312万  
4千円とする。

主な内容は、内原  
東処理区内の事業量  
の増により1627  
万8千円。

内原東、内原西の  
両処理区統合のため  
処理区計画変更作成  
委託料200万円な  
どの追加補正。

質疑

**問** 変更委託内容は、  
**上下水道課長** 処理  
場も含め、処理区全  
体の計画変更に係る  
委託である。

# 町長行政報告

## 阿尾湿原地

阿尾地区の湿原地13万平方メートルの寄付を受け、今後、自然環境保護に活用していく。

加え、さらに観測装置2基が増設される予定であり、事業推進に向けて積極的に協力していく。

## 下水処理場の統合

風力発電  
西山山頂の民間会社による風力発電事業の可能性を評価する風況調査のため、観測装置を1基に

集落排水事業に係る、内原東・内原西の両処理区の統合に向け事業を推進し、早期供用開始に取り組む。



寄付される湿原地（阿尾）

## 「住民投票条例の制定を求める請願」を不採択・委員会解散

### 合併問題検討特別委員会

6月4日、町長は「国の三位一体改革が推進される中、行財政を取り巻く現状は極めて厳しく単独では到底やっていけない。3町合併が破綻した今、今後は由良町との合併を進めていきたい。」と理解を求めた。

これを受け、委員会も協議の結果、賛成多数で推進を可決した。

その後、合併協議会を立ち上げスタートした。

10月15日、町長は推進を一変し、議会・合併協議会を無視しての独断による単独表明をした。合併を断念し、単独行政を判断した資料の提出などを求め議論が紛糾した。

12月24日、付託された合併の是非を問う住民投票条例の制定を求める請願を採決した結果「不採択」となった。

## 反対討論

請願の文面が一般的で具体的なになっていない。

西岡 佳奈子議員

住民への情報開示の時

## 賛成討論

町の大きな将来がかかっている。住民の声にも賛否両論がある中で、その賛否を問うべき。

山本 善啓議員

何ら説明もないまま、町長の単独表明に住民も不満を感じている。今後

間が足りない。未調整のままでの合併は良くない。

金崎 昭仁議員

由良町との信頼関係のためにも住民投票を。

天満 滋明議員

議会も賛否が伯仲しており、住民も困惑している。町の将来を見定める重大事、その判断を住民に委ねるのが公平だ。

楠 新一議員

これを受けて、合併問題検討特別委員会も調査終了のため解散した。



請願採決

# 未来をきずく

## Q & A

### いっぱん質問

## 職員の意識改革を!!

金崎 昭仁 議員

町長 更に厳しく指導していく



**問** 公務員とは。

**町長** 第一に「全体の奉仕者として、住民本位の行政の推進に全力を尽くす者」である。

**問** 知識向上、能力開発のために、他の研修への参加等の体制づくりは。

**町長** 意識の高揚のために、各種研修には積極的に派遣していく。

**問** 企業的感觉を持った職員も必要ではないか。

**町長** 以前に民間企業へ研修に行ったが、今は行っていない。今後、良いところがあれば考える。

**問** まちづくりを担っている職員は、地域においてどのようにかわっているか。

**町長** 各地域での行事には、絶対参加して皆さんと一緒にふれあいの場も作れということを示している。

**問** 町民の考えを活かす方法として、各課でしばらずに、いくつかのグループに分けての意見交換、情報交換を行い、活かしていけば良いのではないか。

**町長** 十分検討していく。

**問** 意識改革ができないのなら、能力主義、成果主義等の導入を検討し、一人ひとりが危機意識を持つことが大事ではないか。

**町長** そのとおりである。

**問** 基本のところから、改革を望む。

**町長** 挨拶、言葉使い、態度等、再度十分指導していく。

**問** 人件費の削減について。

**町長** 3月議会に削減案を提出する。

**問** 人件費の削減により、職員の仕事に対する士気の低下が懸念されるが。

**町長** 低下も一部に起こる。サービス低下に十分検討する。

**問** 農林漁業等従事者の所得増の対策は。

**町長** 消費者のニーズに合ったものを生産することで、高収益につながることを

ら、研究、また助言を行っていく。

**問** 互いにアイデアを出し、オンラインワン商品を目指すために、もっとアドバイスや火付け役になるべきではないか。

**産業課長** 農協、漁協等、関連機関と連携を取りながら、検討していく。

**問** 職員管理について、助役の役目を聞きたい。

**助役** 範囲が広いので本当に難しい。

**問** 職員への気配り、意欲という点で、うまく機能していないのではないか。

**助役** 十分検討、気を付けて職務を全うする。



危機意識を持って職務を!!

## 楠 新一 議員



# 宙に浮いた合併協議会

## 町長 住民の幸せのため自立に取り組む

**問** 自主財源が乏しく、国頼りの当町は、到底単独でやっていけない。だから、合併は避けて通れないと由良町との合併を進めてきた。

それが一変して、議会・合併協議会を無視しての突然の単独表明に多くの住民の方々が困惑している。

この度の一貫性のない言動について、首長として速やかに住民に説明する義務と責任があると考えるがどうか。

**町長** できるだけ早く説明する機会を持つ。

**問** 県の市町村課長を招いての議員研修会で課長は、今後の財政状況には相当厳しいものがある。

特に日高町民にとつては、合併が住民の幸せになると断言された。

合併することで、人件費の削減、道路や下水道事業は合併特例債を活用

することで、15年間で164億円の合併余剰金が生み出されると説明された。

一方、町が示す単独財

政計画では、本年度予算が48億円、それが18年度では30億円、さらに24年度では26億円に減少する。これでは、数十年前にタイムスリップした予算である。

現在、住民が享受している福祉は、到底維持できるものではない。

また、本年度で約16億円の普通建設費が18年度では3億円余りに激減、さらに25年度では約6千万円に減少する。

これでは、ほとんど何もしない活力のない町になるのは必至である。

にもかかわらず、人件費約7億円はそのままであり、実に窓際行政になると懸念するがどうか。

**町長** 単独で行くため、十分検討した財政計画である。事業については17年度でほとんど終わり、後は維持管理的なものになると考える。

また、人件費については減額できるところは検討する。

**問** 産業は町民の雇用と所得を確保する場であり、

経済の基盤である。

しかし、当町の産業全体は、いま衰退の一途にあると言つても過言ではない。

これから、自立して行くためには、現状の実態を十分把握して、もつと危機感をもつて取り組むべきと考えるがどうか。

**町長** いまも全力を挙げて取り組んでいるが、いま以上に取り組む。

その他、温泉館「みちしおの湯」の運営状況と今後の取り組みについて質問した。



身動きとれない協議会

天満 滋明 議員

# 経費削減はまず自ら

## 町長 理解しているが時間がなかった



**町長** 対等合併で立ち上げたがいろいろ検討した結果、単独の方が良いと判断した。

**問** 新町の名称募集には住民、生徒達から熱心な応募をいただいている。純粋な子ども達が精一杯考えた町名が幻に終わった場合どのように対処するのか。

**町長** 子ども達、また保護者の方に対しても申し訳なく十分お詫びしたい。

**問** 美浜町との3町合併協議から今現在までに費やした経費と1日当たりの費用は。

**町長** 3町合併協議会から現在まで3930万円、2町合併協議になったの1日当たりは10万5千円。

**問** 両町の合併は対等合併で立ち上げたのではないが、町によって差があるのは当然のはずだが。

**問** 単独表明後、財政計画の説明を受けたが町民に対しての経費削減よりも、まず行政の執行者側から手本を示さないと町民は納得しないが。

**町長** 以前から単独で行く場合には率先して特別職からとの腹づもりであるので十分検討する。

## ケーブルテレビで文書配布を省略

**問** 紙面に印刷した文書(情報)を人手を使って各家庭に配布している現在の仕組みは原始的な方法だと思っ、高度情報化社会の世の中、将来に向け通信ネットワークの整備に力を入れるべきだが。



未来の情報システム

現在5町村で取り組んでいる。事業費は13億円弱で日高町負担割合は加入金と引き込み費で約1億円。

**問** 事業達成の見通しは。

**企画財政課長** 申請はしているが厳しい国の財政事情の中、予算がつけば17年度にはとの見通しである。

**企画財政課長** 放送に行政チャンネルを設け、文書配布を解消したいため



実現できるか

## 自主財源に対する取組み

**問** 風力発電建設について適地の可能性が高いと見ることが。

**町長** 現在1基の観測装置だがさらに2基の増設が進められている。このような状況を考えると見込みがあるのではないかと推測する。

**問** 実現すれば当町においては厳しい財政事情のあり、貴重な税収源になる。

企業頼みではなく地元として誘致に対し積極的な熱意を見せては。  
**町長** 会社が適地と判断した場合は、地域の活性化にもつながるので積極的に協力したいと考えている。



小型プラスチックを第 3 水曜日に収集

# どう変わるゴミ分別

## 町長 小型プラスチックゴミが増える

西岡 佳奈子 議員

分別についてのポスター等を全戸配布する予定。

**問** 環境や財政のことを考えれば、ゴミ排出量の削減に力を入れなければならぬ。どう考えているか。

**町長** 町民一人ひとりに責任を持って取り組んでもらうよう啓発していく。また今後も、生ゴミ処理機、集団回収への助成等、ゴミ削減に取り組む

**問** 4月以降、ゴミの分別はどのように変わるか

**町長** 小型プラスチックゴミ(プラスチック製品やポリ製品)が増え、6種分別となる。不燃物の指定袋に入れ、第3水曜日に収集する予定。

**問** 分別方法について、住民への周知方法は。

**保健衛生課長** 12月の区長会において説明。また、

**問** 小型プラスチックゴミの広域圏での処分方法は。

**保健衛生課長** 圧縮摩擦熱で容積を縮めたあと、一時保管。最終的に埋め立て処分となる。

**問** 最終処分場の見込みは。

**保健衛生課長** 大阪湾フェニックス計画に指定され、大阪湾に埋め立てられる見込み。

**問** 今後のゴミ問題に取り組む方向性として、プラスチックの分別も考えるべきだと思う。

プラスチックゴミの中にもポリプロピレンや塩化ビニール、発泡スチロール等がある。すべて一緒に集めて、最終的に埋め立てるしかないということではなく、分別して資源として再利用していくという方向を考えては。

**町長** 広域圏や市町村の担当課が話し合いの場を持ち、研究していくべきと考える。

# どんな単独行政を

**問** 単独行政を目指す町長の基本的な考え方は。

**町長** 安心して豊かに暮らせる町づくりを基本に、誠実で信頼される行政を実現したい。

今後は、引き続き行政改革に取り組み、事務事業の精査を進める。

**問** 今議会に福祉施策の切り下げが提案されたが、町単独事業だから見直していくというのは危険な考え方である。

本来の地方自治ということを考えれば、日高町らしさを考えた中で、継続していかねばならない町単独事業もあるはずだと思うが。

**町長** 少子化対策に力を入れたいという考え方が、乳幼児医療費や妊婦医療費などの助成事業は継続していく。





中村 性一 議員

# 大地震への備えは

## 町長 耐震診断や改修事業を実施

**問** 地震に対する具体的な防災対策は。

**町長** 昭和56年以前に建築された木造住宅の耐震診断や、改修事業の実施。消防用施設等の整備をする。

**問** 耐震診断や改修事業の実施時期は。

**建設課長** 耐震診断の申請数は、11月末で92件。

本年度50戸診断し、残り42戸は来年度で予算化。改修については、耐震診断後の審査で、対象者から要望があればその都度検討する。

**問** 「日高町地域防災計画」では、防災知識の普及として、建築確認申請時に耐震等の指導を促進する」となっているが、木造住宅で建築確認を必要とする建築面積は。

**建設課長** 3階以上か、延べ面積500㎡以上。

**問** 木造住宅のほとんどが建築確認は要らない。「防災計画」の中で「毎年3月と8月に耐震診断の普及を図り、耐震化改

修を実施するよう指導する」となっているが、どんな取り組みをしてきたのか。

**総務課長** 今年9月に初めて予算化した。

**問** 災害時には飲料水の確保が非常に重要。

中越地震のあった長岡市では、配水管をポリエチレン管で、また重要箇所には緊急遮断バルブを使用していたことで、飲料水の確保ができたと報じられている。

当町の配水管やバルブ等はどうか。

**上下水道課長** 30kmほど

铸铁管を埋設している。地震に有効なポリエチレン管の敷設を今後考えていきたい。

また、緊急遮断弁を2基申請しているが、設置箇所についてはいろいろ検討していきたい。

# 今後の台風対策

**問** 台風23号による被害を問う。

**町長** 港湾施設で7件、漁港施設で6件、公共土



防潮堤を越え県道まで押し寄せる大波（台風23号、産湯海水浴場）

木で2件あり、被害総額は約2億4500万円。

**問** 今後、満潮時の台風や津波等も想定した河口対策が必要ではないか。

**建設課長** 田杭の川口は、区長から要望のあったフリップゲートを来年度つけるよう県に要望した。

比井の川口は、ポンプで海に水を放出する方法が、今後区民や県土木とも協議し、検討する。

**問** 小浦防潮堤の延長や小杭のガードレールの流失等の今後の対策は。

**建設課長** 小浦防潮堤の延長は、台風23号の被害調査で、県も理解を示しており、今後強力に要望していく。

小杭のガードレールに代わるものとして、パラペット等考えられるが、地区のみなさんと対応策を考える。

一松 輝夫 議員



# 単独は保身のためか

## 町長 自分のためではない

**問** 合併の必要性について、町長は住民にどのように説明してきたのか。  
**町長** 非常に厳しい財政状況になる中で、合併は避けてとおれない。

**問** 町長は、合併の必要性をどのように認識されているのか。  
**町長** 行政の効率化、行

財政の強化が図れ、また2町になってもそうである。  
しかし最終的には私の判断で、日高町のメリットが少ないとの結論に達した。

**問** 由良町に公共事業が多いからやめるといいますが、それは1つの時点でしょうか？  
15年もすれば日高町の事業ばかりになる。

財政を強化し住民の福祉に充てる、だから合併が必要である。  
**町長** 事務事業現況調査、普通事業建設調査によって決断した。

**問** 2町で合併した時の効果は。  
2町で合併した時の効果は。

効果は。

**町長** 財政支援額が合計で164億円で、合併効果は人件費で1年間で1億1千万円である。

**問** 効果は、議会が1つになり、町長部局も課も、公用車も1つで済む。  
1年間で何億ものお金が浮いてくるので、それを住民の福祉に回す。

また、国、県が合併した町の事業には、優先採択して重点投資をしてくれるのをご存じか。  
**町長** 後回しになると自覚している。

**問** 由良町から出ているトンネルの件について、前町長の志賀氏からお話を聞いていないか。  
**町長** 一切聞いていません。

**問** 住民の幸せを第一に考え、安心して暮らせる町づくりを基本に財政計画を作ったと言われた。ところが計画は住民の福祉を切る、今議会に提出されている議案は、福祉を廃止し産業も見直し、すべて削減ばかりである。

行政改革はひとつも提案されていない。  
**町長** 特別職の人件費については、減額の方向で、3月議会に提案したい。

福祉の廃止を求めるのが筋である。  
口では、住民の幸せを第一にと言われるが、今議会で明らかになったのは、あなたの幸せを第一に考えた、単独はあなた

の保身を図るためであると言わざるを得ない。  
**町長** 私のためにそういうことをやってるわけではない。

行政改革をした後、



突然の単独表明（第4回合併協議会）



働く場の確保を!!



山本 善啓議員

# 合併しなければ住民の幸せはない

## 町長 メリットを見いだせず断念

**問** 単独の財政プランでは、インフラ整備は終わったとの説明であるが、

業の振興、育成には最大限の努力が必要であり、そのためには財源が必要であるが、単独では夢も希望も無い。

**町長** 後に残るのは、維持管理面だけである。

非常に厳しい財政状況になると思うが、町長は地方自治法が守ってくれると思っているのか。

**問** 私はまだインフラ整備は終わったとは思えない。

**町長** 単独でも行けると自信を持っている。

**問** 10月15日町長の単独表明以来、合併を推進する立場の私は寝付きの悪い日々を過ごしており、「合併をしなければ住民の幸せはこない」と強く訴えたい。

また、3年後3億7千万円の普通建設予算では、町内の建設業で夢を持つて働く若者の雇用の方も無くなり、経済的波及効果は後ろ向きである。

**問** 国は、700兆円もの借金のためなら、地方自治法すら変えてくるのではないか。

**町長** 行政の効率化による行財政の強化を図るために合併に取り組んできたが、メリットを見いだせず断念に至った。

選挙公約では、後ろ向きの行政をやっていくとは言っておらなかったと思うが。

国・県の合併推進の意向に添うべきだ。町民の中にも職員の中にも合併に対して賛否両論がある。

**問** 単独を選択すれば、2〜3年後には大きなところに吸収合併されるのではないか。

**町長** 住民の幸せを第一に考え、安心して豊かに暮らせる町づくりを基本にと訴えている。

日高町民の90%は「ノー」と言っている。その心配は無いのか。

**問** 公約実現には、財源確保が必要であり、それに向かつて行くのが行政のリーダーだと思うが、公約に反しないか。

**町長** 私は単独と判断して、公表している以上、今のところ考えていない。

**町長** 今後広域的な云々が出てきたとしても、大きなところに吸収されるなんて、到底ないと思っている。

**問** 子や孫が安心して豊かに過ごせる町とは、産

# 委員会レポート

## 総務文厚委員会



日本本土最南端、佐多町の風力発電

### 風力発電で まちづくり

10月25日、鹿児島県佐多町における「風力発電を活かしたまちづくりの取り組みについて」視察研修を行った。

佐多町は、日本本土の最南端、大隅半島の突端に位置し、人口約3600人、世帯数1800戸の農漁業の町である。

この町では、今年の3月から1300kwの風力発電10基が稼働している。発電量は、一般家庭の

約6800世帯分の電気を供給できるとのことです、発電した電力は九州電力株式会社へ売電している。  
今後のまちづくりには、風力発電を南大隅の新たな名所として、既存施設と合わせたルートづくりを行い、来年度に「元氣おこし事業」で観光客誘致を行う。

この事業は、環境にやさしい自然を利用した事業であり、執行部・議会が全面的に協力して推進したものである。

### みんながプロ意識を

10月26日、熊本県小国町の町づくりについて視察した。  
小国町は、人口9100人、世帯数3000余りの農林業中心とした町であり、近年第3次産業、観光産業に移行している町

である。

役場の一階には、FM小国のスタジオがあり、FM放送と防災行政無線をドッキングさせた危機管理と情報伝達システムを行っている。

各家庭へは、FM受信機(約6千円)を無償で配付しており、緊急時にはラジオのスイッチが自



FM放送と防災行政無線をドッキングさせたスタジオ(小国町役場1階)

動的にONになるようになっていく。

職員は、細部にわたり日々努力し、町長・課長は何を聞かれても、答えられるように常に勉強している。

「職員はプロであるから何でも知っていないといけない。」

高い給料をもらっているのに、全てをお返しするぐらいの能力を持つて

いないと町づくりはできない。」と言われた。

町づくりについては「21世紀シナリオ」の冊子があり、コンサルタントが策定したものでなく、職員と町民の方々が策定したものである。執行部も小国町で研修されることを望むものである。



大隅町役場にて

## 産業建設 委員会

## 物産館で まちの 活性化

10月25日に鹿児島県大隅町で、物産館の運営や農業後継者対策の取り組みについて視察を行った。事業の目的は、多様な地域資源と農村空間を総合的に活用して、都市との交流を図り農業経営の多角化を促進し、地域農業に必要な経営基盤の確立により農業所得の向上を図るとともに、活力ある農村地域社会の形成を

図る。」ことで、取り組みをしている。

業績については、当初計画の年間入場者5万3千人、売上8400万円の予想であったが、初年度から予想を上回り、15年度では18万2917人、2億420万円と伸びている。

都市との交流については、年間8回のイベントを行い、多くの来場者を行っている。

物産館の運営方法は、大隅町特産品出荷者協議会と、町から職員一人を派遣し行ってきたが、16年4月1日をもって「株式会社やしろつ農土家市」の名称で、資本金1003万円・出資者140名の民間会社を設立し、運営をしている。

次に、農業後継者対策については、新規就農者支援対策事業に平成元年から取り組み、15年までに55名の新規就農者が誕生している。

その内訳は町内在住者やUターン就農者であり、ほとんどが畜産関係である。

## アイデアは 身近に

10月26日、白水村では「白水村おあしす米生産組合」の設立の経緯や運営方法等について視察を行った。

白水村は南阿蘇に位置し、白川水源から湧き出る水は、日本名水百選に選ばれている。

「おあしす米」は、平成元年に無農薬米を作ると賛同した農家7名で始め、産直に取り組んだ。平成3年には「白水村おあしす米生産組合」を設立し、販売活動を開始する。

平成4年アイガモ農法を導入し、アイガモ田見学ツアーで生産者との交流を企画し、販売促進に取り組む。

その後、パソコンを利用した販路開拓の努力を重ね、平成3年には顧客



白水村の販売所「自然庵」

数38名であったが、現在では組合員数20名・顧客数800名と20倍の増加であり、組合員1人当たり平均2ヘクタールの水田で無農薬・微農薬のおあしす米(1俵当たり約3万円)を生産している。

平成14年には、全国農業コンクールで優秀賞となり、農林水産大臣表彰を受賞するなど、生産組合の活動が評価されている。

組合設立に関しては、行政からの補助は受けていないが、組合員相互の努力によりここまで発展する事ができたとのことであった。



# 水道料金13%値上げへ

水道料金等検討特別委員会

日高町は、平成17年度から日高及び比井崎簡易水道事業をひとつにした上水道事業に移行することになった。

これに伴い企業会計を導入し、独立採算性の料金改定が必要となり、町当局から水道料金を20%値上げする条例の改定案が9月議会に提案された。議会は企業会計による独立採算性を理解しつつ



最新の処理施設を導入した萩原浄水場

も20%の値上げは町民生活に与える影響が大きいためとして委員会を設け、上水道へ移行することに伴う、企業会計導入による料金改定の審査を行った。その中で、原水の購入費、職員給与の抑制、新たな基金の投入、減価償却費の圧縮等について、執行部と協議を重ねてきた。

しかし、原案の値上げ

案では、住民の理解が得られがたいとの結論に達した。

委員会としては、企業会計導入による独立採算制の原則も理解しつつ、住民の理解も得られるようにとの考えで、全委員一致のもと今回は、基本料金・超過料金とも、約13%の値上げにとどめた修正案提出に至った。

今後、最新の処理施設に変更することから、より良質な水が提供できることや、経費の削減などによる経営努力、また、下水道事業の供用開始に伴う志賀、内原地区での使用水量の動向などを見極めながら、経営にあたるように求める意見もあった。

本会議では財政面・今後の運営面についての質疑は出たが、全員賛成で可決した。

1 カ月当たりの水道料金早見表 (単位：円) 一般家庭用 13 ミリ			
使用水量 <sup>m<sup>3</sup></sup>	現 行	原案(20%アップ)	修正後(13%アップ)
~ 10	1,294	1,571	1,453
20	2,714	3,271	3,063
30	4,339	5,221	4,903
40	6,579	7,921	7,443
50	9,229	11,121	10,443
60	12,279	14,821	13,893

## 国の三位一体改革

地方交付税  
の大幅削減

許さんぞ!



地方自治体

## 意見書

平成17年度地方交付  
税所要総額の確保を  
求める意見書

国は、平成16年度の地方交付税を理不尽にも大幅に削減したことによって、地方自治体の財政運営が困難を極め、国に対する信頼関係を損ねた。平成17年度地方交付税は、平成16年度の轍を踏まぬよう、国と地方の信頼関係の構築に努め、少なくとも平成16年度以上の総額を絶対確保するよう強く求めた意見書を、全議員の賛成で可決し、関係機関に提出した。

## 請願・陳情

政府・文部科学省に対し、教育基本法の改定ではなく、教育基本法に掲げる理念の実現に向けて、最大限努力されるよう要望する意見書の提出を求める請願と陳情が9月議会に提出され、総務文厚常任委員会に付託された。

委員会は、閉会中に慎重審査の結果、全委員賛成で採択した。

### 教育基本法の理念の実現 を求める意見書

教育基本法は、その前文で「われらはさきに、日本国憲法を確定し、民主的で文化的な国家を建設して、世界の平和と人類の福祉に貢献しようとする決意を示した。この理想の実現は、根本において教育の力にまつべきものである」として、教育の重要性を訴えている。

国民並びに教育行政は教育基本法の理念を実現すべく不断の努力を積み重ねてきた。

平成15年3月、中教審は、今日の教育課題を解決するために教育基本法の改正が必要と文部科学省に答申した。

しかし、現在の少年事件に見られるような問題行動、不登校、学級崩壊などの克服は、教育基本法を改定することで解決するものではない。

教育基本法の掲げる理念の実現に向けて最大限努力されるよう強く要望する。

以上の内容の意見書を全委員賛成で可決し、関係機関に送付した。

### 公正で民主的な教科書 採択を求める請願

9月議会に提出され、総務文厚常任委員会に付託されていたが、提出者から取り下げの申し出があり、取り下げられた。

## 意見書否決

### 北朝鮮による日本人拉致問題の 早期全面解決を求める意見書

中村性一議員が賛成者1名と提出したが、「国際問題については地方議会から意見書を提出すべきでない」という反対討論があり、賛成者少数で否決された。



ゆたかな教育を（内原小学校）



郷土・日高町の海と山（阿尾漁港）

# まちの声

より豊かな郷土をめざして

先年、県から指名を受け、町内の古文書調査を実施しました。

感じた事は、その記録の数の多さと、多岐にわたる内容の豊富さでした。

廻船で他国に雄飛する船頭あり、全国を巡る念仏の行者（徳本上人）あり、松尾槐亭に師事した文人（崎山豊秋）あり、田畑を売り、生命がけで池を造り郷土を救った恩人（柏木浅右衛門）あり、で深い感銘を覚えた次第です。

この時代に登場する人物は、江戸時代という厳しい社会情勢の中、涙ぐましい努力を重ね、私達の暮らしを守ってこ

皆さまのご意見を  
おまちしています

れた方がたです。私は今改めて、先覚者達の生きざまに触れ、学ぶことにより、郷土への愛着を深め、自己を見直し、より豊かな郷土の発展へとつなげたらと思つた次第です。

萩原 青山 善樹

## 編集後記

平成 17 年も 1 ヶ月が過ぎようとしていますが、いかがお過ごしでしょうか。

昨年は、台風、地震、津波と自然の驚異を見せつけられた 1 年でした。今年は、穏やかな年であって欲しいと願っています。

議会だよりも 100 号を迎え、より一層「読みやすく、わかりやすい内容に」と毎回、工夫を重ねてきています。

今期の広報委員による編集作業も今号で終わりとなり、次号からは新しい委員会体制となります。引き続きご愛読いただきますようよろしくお願い申し上げます。

議会広報特別委員会

- |        |       |
|--------|-------|
| 西岡 佳奈子 | 辻村 仁志 |
| 中村 性一  | 金崎 昭仁 |
| 清水 正巳  | 楠 新一  |
| 天満 滋明  |       |

## 第34回議長杯争奪 少年野球大会開催

— 11 月 14 日、23 日 2 日間の熱戦 —

- 優勝 内原少年野球クラブ
- 2 位 志賀少年野球クラブ
- 3 位 比井マリン少年野球クラブ



判定は！？